

投稿の手引き

1. 原稿はMS-WORDを原則とし、テンプレートにならって作成する。
2. 原稿には、和文題目、英文題名、漢字著者名、ローマ字（略さず）著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。つづいて、英文アブストラクト、和文本文（図・表・写真とその説明を含む）、文献の順に記す。
1ファイルにする必要はない。英文アブストラクトの和訳、図表名とその説明の和訳は別ファイルとする。ただし、報文、雑報の場合アブストラクトは省くことができ、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれがないとき省くことができる。
3. 英文アブストラクトは、目的、仮定、方法、結論等を明確に書き、本文の数式、図表等は引用しない。
4. 本文
 - 4.1 節の切れ目は1行あける。
 - 4.2 節の見出しはゴシックとし、各節の本文は新しい行から1文字あけて書き始める。
 - 4.3 句読点には、.（ピリオド）、,（コンマ）を使用し、。、は使用しない。
 - 4.4 人名、地名の読みにくものには振り仮名を付ける。
 - 4.5 数式、特に本文中の数式は、その前の文と行間が1行程度になるように調整する。数式が続く場合には行間を開ける必要はない。
 - 4.6 単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 4.7 暦年は原則として西暦を用いる。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
 - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ずつける。
 - 5.2 図等には、第1図、Fig.1、表1、Table 1のように通し番号を付ける。
 - 5.3 製版後は図の修正は不可能なので、注意すること。
6. 文献
文献は、本文の末尾に原則として次の形式にしたがって列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。
雑誌 著者名（西暦年）：表題、雑誌名、巻数、号数（原則として省略）、ページーページ。
単行本 著者名（西暦年）：書名、第何版、発行所、総ページ数（または引用ページ）。
（例）
安藤邦彦（1992）：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*駿震時報*, 55, 139-156。
宇津徳治（1985）：*地震学*, 第2版, 共立出版, 310pp。
Hull,A,Gand C.nicholson(1992):Seismotectonics of the Northern Elsinore Faults Zone, Southern California, *Bull.Seism. Soc. Am.* 82, 800-818.

平成22年3月19日発行

編集兼発行人

気 象 庁

東京都千代田区大手町1丁目3-4

印 刷 所

有限会社 エムア

茨城県龍ヶ崎市川原代町1062-38

TEL 0297-95-5161

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

Quarterly Journal of Seismology

Vol.73 Nos. 3 ~ 4 March 2010

Contents

PAPER

- Description of and Advances in Automatic CMT Inversion Analysis
.....Yuji USUI, Shigeki AOKI, Naoki HAYASHIMOTO, Toshihiro SHIMOYAMA, Daisuke
NOZAKA and Tomohisa YOSHIDA 169

REPORT

- Efforts for Quantitative Evaluation of Seismic Quiescence and Activation, Part II
..... Naoki HAYASHIMOTO and Tamotsu AKETAGAWA 185

Published

By

The Japan Meteorological Agency
c/o Seismological and Volcanological Department, JMA
1-3-4 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, JAPAN